

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスNICO泉		公表日		令和 8年 2月 25日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		86%	14%
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		100%	0%	マンツーマン対応の児童は多いが、職員同士で協力し療育は実施出来ている		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		86%	14%	室内ではバリアフリーとなっているが、マットが敷かれてある為、少しの段差はある。玄関は段差が高い為、足置きの台を設置している	バリアフリー化はなっていると思う。しかし、課題の時間や遊ぶ時間と各児童がバラバラである為、環境上の配慮は出来ていないと思う	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		86%	14%	毎日、室内の掃除や消毒等を行っている為、清潔は保たれていると思う。また、状況に応じて、その都度、消毒等を実施している	加湿器が足りないと思う	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		100%	0%	相談室や更衣室は個室である為、必要に応じて児童が使用することが出来る		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		57%	43%	日々、職員間で様々な話しは出来ていると思う	時間を設けて話し合うという機会は少ないと思う
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		86%	14%	・毎年、保護者向けのアンケートを実施している ・対応可能な部分は皆で共有し、改善につなげていると思う	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		71%	29%	朝礼時やそれ以外の場面において、各職員が発信する機会はある	しっかりと時間を設ける機会は少ないと思う
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		0%	100%		今年度は第三者の介入はなかった
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		100%	0%	外部研修等の情報提供をしたり、法人内において、各職員のスマホから動画視聴が出来る研修を取り入れ毎月実施している	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		100%	0%		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		100%	0%	定期的に保護者の方と面談を実施し、保護者及び利用児童のニーズ等を元に作成するようにしている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		100%	0%	各職員から意見を聞き、反映させるようにしている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		100%	0%	全職員が個別支援計画書の内容を周知した上で、支援を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		86%	14%	保護者の方より、アセスメントシートを提出していただいている	インフォーマルなアセスメントは出来ている
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		100%	0%	ガイドラインに基づき、ニーズに合わせた支援内容を設定している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		100%	0%	各職員で意見を出し合い、プログラムを立案している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		100%	0%	毎日、個別にスケジュール表等を作成したり、日々内容を変えながら集団活動も取り入れている	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	個別活動及び集団活動を組み合わせ支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	朝礼時で打ち合わせを実施している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	57%	43%		必ずではないが、その都度、職員から意見を出し、振り返りや気付きを共有している
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	各職員で経過記録をとり、全職員が共有でき改善につなげられるようにしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	定期的にモニタリングを実施し、評価や修正を実施している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	71%	29%		地域交流の活動は少ないと思う。下校時間が学校や学年によって異なる為、職員の配置が難しいと思う。買い物レクリエーションは出来る時に行っている
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	各々の児童の特性を把握した上で、本人が自己選択・自己決定出来る支援を行っている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	管理者を兼務している児童発達管理責任者や、専門職が主に担当者会議等に参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	協力医療機関、学校、相談支援専門員と連携が図れる体制を整えている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	学校との情報共有、連絡調整は適切に行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	86%	14%	就学前に利用していた場所での情報は、アセスメントや計画書の書面にて共有している。相談支援事業所が入っていない児童においては、保護者の方からの聞き取りを行っている	放課後等デイサービスからの情報提供は少ないと思う
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	移行する事業所との直接的に情報提供をすることは少ないが、主には相談支援専門員の方を通して情報を提供している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0%	100%		今年度は、児童発達支援センターとの関わりはなかった
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%		现阶段では、交流の必要性は考えていない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0%	100%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	日々、連絡ノートや送迎時、電話等で児童の様子を伝えたり教えていただき情報の共有に努めている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14%	86%	ご家族が参加出来る講習等の情報提供は、書面にて配布している	ペアレントトレーニングは実施していない
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に説明を実施している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	定期的な面談をはじめ、保護者の方から相談があれば、話し合いの時間を設けている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	定期的に面談を行い、内容を説明し同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	保護者のら相談があった際には、話し合いの機会を設けて対応している	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0%	100%		保護者の方よりご要望があれば、検討していく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	苦情受付窓口を設けており、訴えがあれば各職員に周知し、苦情解決につながるように対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	毎月、事業所通信を発行し配布している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	契約時に、個人情報の取り扱いについて説明し、同意書を作成し承諾を得ている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	各児童に合わせた意思疎通の方法を検討し、対応している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	71%	29%		・防犯マニュアルの作成は早急に準備する ・避難訓練や感染症発生時のピンポイントな研修は実施しているが、それ以外の訓練等は行っていない ・保護者の方へのマニュアルの周知も今後、徹底していく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		年2回以上、避難訓練は実施している
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	アセスメントを行う際に、保護者の方よりしっかりと聞き取りを行い、その後も適時状況確認を行っている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	71%	29%		医師からではなく、保護者の方話しをうかがい、全職員が周知している。おやつ提供時には、複数の職員で成分表の確認を行っている
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	その都度、ヒヤリハットの記録を作成し、全職員が周知するようにしている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	内部研修や動画視聴等による研修を実施している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	86%	14%	そのような児童がいた場合には、必ず保護者の方へ説明を行い、詳細な記録をとることや個別支援計画書に記載することは認識している		